

消防団活動拠点施設の改修を行いました

能美市消防団3分団（根上分団、寺井分団および辰口分団）の活動拠点施設の改修を行いました。

根上分団および辰口分団の施設は、消防職員の仮眠室の個室化や施設の長寿命化の改修を行いました。また、寺井分団の施設は、団本部および女性分団の活動拠点施設を整備しました。



辰口分団活動拠点施設



女性分団活動拠点施設



個室仮眠室

施設の改修、整備により各分団の拠点が強化されることで、災害時において拠点を中心に円滑な消防活動が行えることとなります。

2年ぶりに能美市総合文化祭を開催

10月29日から11月7日まで、根上総合文化会館などで、第17回能美市総合文化祭が開催され、市民が日ごろの成果を披露しました。

10月29日からの3日間は、文化協会によるいけ花や書道などを展示。11月5日から3日間は、公民館講座やサークルに通う市民の作品約1200点を展示しました。11月6日には、市民文化・芸能大会が開かれ、8団体による大正琴やダンス、太鼓演奏などが披露されました。

奏などが披露されました。昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全てのプログラムが中止となりましたが、感染症対策を講じて2年ぶりの開催となりました。会場を訪れた人々は、楽しそうに展示や舞台を観賞していました。



中庄町公民館による太鼓演奏

石川県文化功労賞受賞者が表敬訪問

10月26日、石川県文化功労賞を受賞された松村芳明さんと山岸大成さんが、井出市長を表敬訪問されました。

同賞は、多年にわたり地域文化の向上に寄与されている個人と団体にその功績をたたえ贈呈されるものです。松村さんは文化財保護の分野で、山岸さんは美術工芸（陶芸）の分野で受賞されました。



左から松村芳明さん、井出市長、山岸大成さん

和気小学校が「教育奨励賞」努力賞を受賞

創造性に富んだ特色ある教育で顕著な成果を上げた学校をたたえる「教育奨励賞」（時事通信社主催・文部科学省後援）の努力賞を和気小学校が受賞しました。石川県では1校だけです。

同校は、地域とのつながりの中で、児童に「ふるさと愛」を育むことに力を入れています。

ふるさとへの理解を深めています。

和気小学校は、市内でも最初にコミュニティ・スクール事業を導入し、地域との連携を深めてきました。その運営を担う学校運営協議会が中心となって、地域の方を募るなど学校と地域をつなぐ役割をしています。

学校と地域の連携した取り組みが、ふるさとの良さを知り、「ふるさと愛」を育むことにつながっています。

創造性に富んだ特色ある教育で顕著な成果を上げた学校をたたえる「教育奨励賞」（時事通信社主催・文部科学省後援）の努力賞を和気小学校が受賞しました。石川県では1校だけです。

同校は、地域とのつながりの中で、児童に「ふるさと愛」を育むことに力を入れています。

その一つとして、平成6年から始まった地域の方との「ふれあい活動」があります。学年ごとに内容を考え、地域の方が講師となつて、地域の自然や伝統遊び、芸能などを体験する活動です。

また日々の教育活動の中でも、地域の方が講師となつて、地域の特色を生かした学習を積極的に展開しています。児童は、地域の素材や伝統文化などを地域の方から学ぶことで、



竹細工を学ぶ児童たち

男女共同参画社会を目指して共同学習・パープルリボンキャンペーンPRを実施

10月25日および11月18日、能美市男女共同参画推進委員会、寺井高校生と「ワークライフバランス」についての共同学習を実施しました。グループワークでは、男女が共に過ごしやすい多様性に富んだ社会を作るにはどうしたらよいかを考えました。

また、11月の「いしかわ

パープルリボンキャンペーン2021」に合わせ、寺井地区公民館にパープルリボンツリーを設置しました。DVや性暴力などのない社会に向けて、メッセージカードを記入して装飾するとともに、DV相談窓口の周知などの啓発に取り組みました。



寺井高校共同学習の様子

福岡保育園の園児が加賀丸いもを収穫

10月28日、福岡保育園の年長組（きくぐみ）34人が中庄町の畑で加賀丸いもの収穫作業を体験しました。

この体験は、中庄町丸いも倶楽部の企画で毎年行われ、市の特産物である加賀丸いもの栽培を通じて食育の大切さを伝えています。

園児は畑を一生懸命掘り起こし、「大きい丸いも採れたよ」と春の種芋植え付けから大切に育ててきた加賀丸いもの収穫を喜んでいました。

収穫した加賀丸いもは園児が持ち帰り、おいしく味わいました。



中庄町丸いも倶楽部の本忠儀さん、中山俊市さんと収穫体験をする園児

市内児童館にご寄附 南加賀地区郵便局長会へ感謝状

南加賀地区郵便局長会から、根上中央児童館、寺井中央児童館および辰口中央児童館に空気清浄機のご寄附をいただきました。

10月15日、新谷真志会長らが市役所を訪れ、井出市長が寄附目録の受領と感謝状の贈呈を行いました。



左から副会長・小松今江郵便局長の北野泰右さん、会長・川北郵便局長の新谷真志さん、井出市長、理事・根上郵便局長の軽海和義さん、能美市部会 部会長・辰口郵便局長の地中勉さん

能美市優良建設工事表彰

10月29日、令和3年度能美市優良建設工事表彰式を市役所で開催しました。

今年度は、「能美東西連絡道路【寺井まちなか工区】道路改良工事（17工区）」を施工した株式会社亀田組が受賞されました。

受賞工事は、現場条件が厳しい中、地域の安全確保を最優先にしつつ、良好な出来形・品質を確保した点が高く評価されました。



左から株式会社亀田組・現場代理人の角博行さん、代表取締役の亀田重樹さん、井出市長

子どもたちが姉妹都市と柔道で交流

11月10日、能美市と姉妹都市ロシア連邦イルクーツク州シェレホフ市の子どもたちが、オンラインで柔道交流会を開催し、親睦を深めました。

能美市からは能美少年柔道クラブの子どもたち11名が参加し、互いに技の紹介や披露を行ったほか、強くなるための秘訣や練習で気をつけていることなどについて意見を交換し、刺激し合っていました。



技を披露する子どもたち

在住外国人と文化交流 国際交流ひろばを開催

11月13日、辰口福祉会館で、国際交流ひろばが開催されました。在住外国人などによるファッションショーや演奏・踊りのパフォーマンスなどが行われたほか、各国のお菓子や料理などがテイクアウト販売されました。

国際色や異文化が溢れる会場では、訪れた人たちがさまざまな国の人たちとの交流を通して、多様性やSDGsについて関心を深める機会となりました。



在住外国人によるファッションショー

ボランティア3団体が知事表彰

11月2日、市内でボランティア活動をしている3団体「能美マジック教室」「まだまだ元気な高齢者サポーターグループはがらか会」「KONOHAWINDS」が、石川県社会福祉功労者知事表彰を受賞されました。

「能美マジック教室」は、市内保育園や地域のいきいきサロンで、マジックのほか、歌や踊り、バルーンアートなどを披露しています。

「はがらか会」は、高齢者の閉じこもりを防止するため、週3回の介護予防サービスを行っているほか、地域福祉の啓発活動にも積極的に協力しています。

「KONOHAWINDS」は、吹奏楽部OBが集まり、市内高齢者施設への訪問や多くのイベントに参加し、音楽を通して交流の機会を広めています。

故 石崎貞明さんが従五位瑞宝章を受章

教育の振興に尽力された功績をたたえ、石崎貞明さん（佐野町）に死亡叙勲が授与されました。

10月26日、妻の恭子さんが市役所を訪れ、井出市長に受賞報告をしました。

石崎さんは県立高校教諭、県国際文化交流センター所長、県立高校校長を歴任されました。退職後はご夫婦で白山ユネスコクラブを設立し、国際交流や文化活動の推進に寄与

されました。

妻の恭子さんは、「夫は、自分のビジョンを決めたら迷わず進み、理想を追い求め、実現した人でした」と貞明さんの人生を振り返っていました。



左から妻の恭子さん、井出市長

東部地区振興会

将来ビジョンの実現に向けて始動

東部地域の7町会（和佐谷町、岩本町、灯台笹町、大口町、宮竹町、長滝町、三ツ口町）で構成する東部地区振興会は、地域課題の解消や地域を元気にするため、市が支援して住民主体で地域の将来ビジョン「東能七郷ななさとビジョン」を策定しました。今年度、「ななさとプロジェクトチーム」を設立し、ビジョンの実現に向け、住民主体の活動を開始しました。

11月7日には、地域の玄関口である川北大橋近くのモニュメント「共存」とその周辺の清掃

を行いました。モニュメントの制作者である彫刻家の山下晴子さんも参加し、作品に込めた思いを参加者たちに伝えました。参加者たちは、たわしなどを使い、丁寧に地域のシンボルを磨き上げ、地域の一体感とふるさと愛を醸成するひとときを過ごしました。

プロジェクトチームは、「まず是可以ることから始めましょう」を合言葉に、将来もずっと暮らし続けたいと思える地域を目指して、活動を展開していきます。



山下晴子さんからモニュメントの説明を受ける参加者



モニュメント清掃活動の様子

宝くじスポーツフェア 「ドリーム・ベースボール」が開催されました

10月24日、寺井野球場で宝くじスポーツフェア「ドリーム・ベースボール」が快晴の中、行われました。地元の学童野球チームが元プロ野球選手から指導を受け、技術を学んだり、選手との交流を楽しんだりしていました。選手のサイン入りバットなどが当たるドリーム抽選会では、当選した人たちの歓喜の声が聞こえてきました。

地元選抜チームとドリームチームの試合は、地元選抜チームが元プロ野球選手からランニング本塁打を放つなどの活躍により、7-4で見事勝利を収め会場を沸かせました。



井出市長による始球式



往年の名選手たち



野球教室の指導風景

祝百寿 いつまでもお元気で 吉田さん おめでとうございます

10月25日、吉田澄子さん（寺井町）がめでたく100歳を迎えられ、お祝い状と記念品が贈呈されました。

吉田さんは新聞や本などをさまざまなものを読むことを趣味とし、朝はヨーグルトを食べ、規則正しい生活を送るなど健康に気を使われています。

長寿の秘訣をお伺いすると、「若いころは化粧品販売会社に勤めており、意欲的に仕事に励んでからは病気が近寄らない、心はいつも青春の気持ちであることだ」とお話ししていただきました。

祝百寿 いつまでもお元気で 南さん おめでとうございます

10月23日、南百枝さん（徳山町）がめでたく100歳を迎えられ、お祝い状と記念品が贈呈されました。

南さんは書に親しみが深く、移動図書館などを利用して読書をしたり、近年までは日記をつけたりするなど読み書きを好んでいました。今でも手紙を書くなど、

筆まめな人であるところ家族からお伺いしました。

長寿の秘訣としては、「魚や自作の野菜で作った料理を好んで食べ、家の周りの掃除など積極的に体を動かしていたことが長生きにつながっている」と教えていただきました。



南百枝さん